

令和 2 年度 地域包括支援センターの重点的取組（報告）

1. 自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの強化と将来を見据えた取組の検討

自立支援型の地域ケア会議を引き続き開催し、各種専門職とともに自立支援・重度化防止の理念の普及拡大、定着化を推進するほか、各区役所と地域包括支援センターが綿密に連携すること等によって、介護や支援を要する方のできるだけ早期の自立支援・重度化防止に向けた取り組みを強化し、地域特性や状態に応じた適切なサービスの提供を目指す。

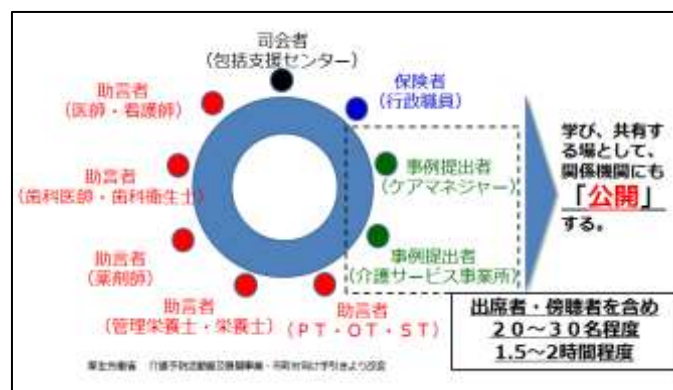
また、令和 2 年度は次期はつらつプラン策定の年度となることから、現在や、今後想定される地域課題を浮かび上がらせ、市とともに将来を見据えた取組の検討を行う。

◆自立支援型の地域ケア会議について

目的: 個別のケアプランを事例として、本人の自立を阻害している要因について、専門職の多角的な視点から明瞭にしていくとともに、自立や重度化防止にむけての方法を考え、共有する会議。

実績	H30	R1
会議回数（回）	167	195
検討ケース数（ケース）	220	311

主な会議出席者：



新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、令和 2 年 4 月～6 月は開催中止。

7月より感染防止策を徹底した上での開催や、リモートでの会議を実施。

◆くまもとはつらつプランについて

3年ごとに更新する熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で、本市の高齢者保健福祉施策の体系的な推進を図るとともに、要介護者等の介護サービス給付量を見込み、介護保険事業の円滑な運営に資する。

学識者、関係団体、市民公募委員等 25名による策定委員会を設置し、審議。

各地域包括支援センターにも情報提供し、意見を踏まえながら策定する。

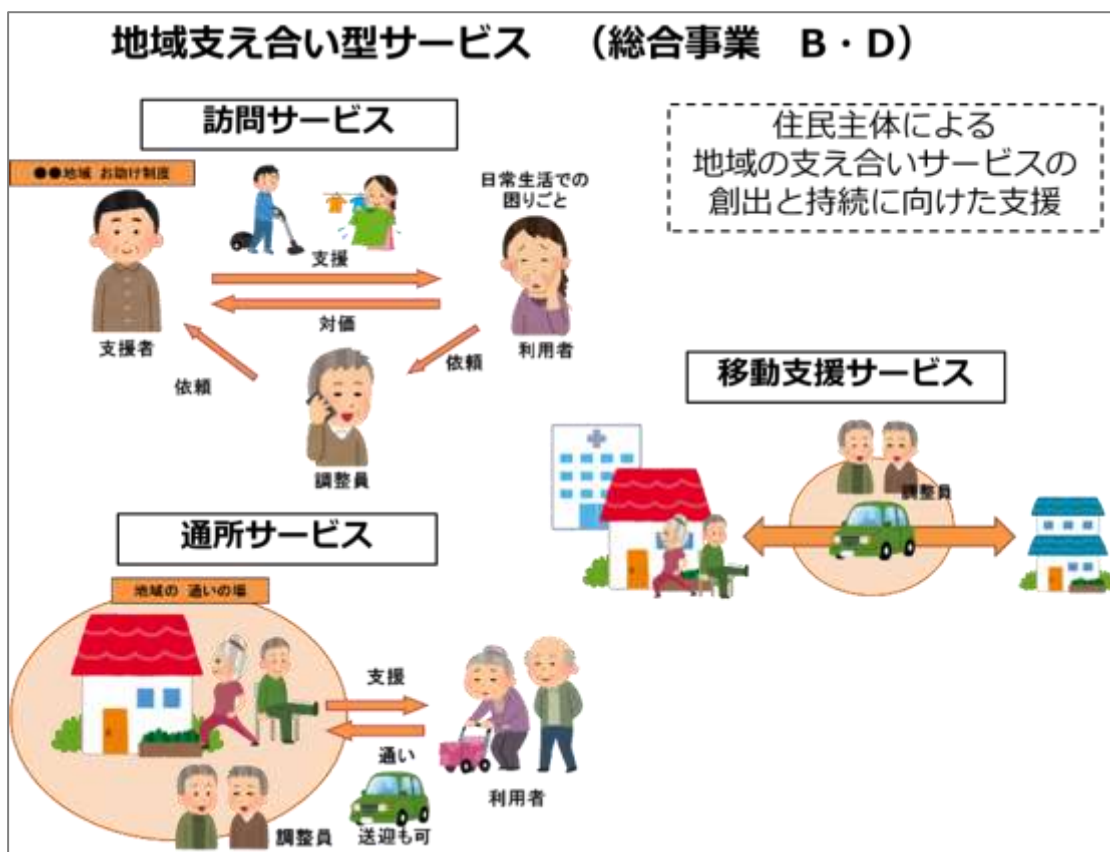
主なスケジュール（予定）

- 5月 策定委員会の設置
策定委員会（4回程度）、専門委員会（4回程度）開催
- 11月 計画素案の確定
- 12月 議会報告（計画素案）、パブリックコメント
- 1月 市民説明会
- 2月 議会報告（計画案、パブコメ結果等）、介護保険条例（保険料分）改正案上程
- 3月 計画策定

2. 多様な生活支援サービスの創出と持続的運営に向けた支援

生活支援コーディネーターを中心として、地域課題の抽出や生活支援の担い手となる人材育成等、地域資源の掘り起こしや開発、ニーズとのマッチングを行うとともに、「熊本市地域支え合い型サービス補助金」を活用し、多様な生活支援サービスの普及拡大や、持続的運営を引き続き支援する。

◆地域支え合い型サービスのイメージ



地域支え合い型 サービス類型	内 容	説 明
訪問サービス	利用対象者の居宅において、介護予防を目的として、主に住民ボランティア等、住民主体の自主活動として行う生活援助等の多様な支援	買物代行、調理、ごみ出し、電球の交換、布団干し、階段の掃除 等 運営費補助月額:2千～1万2千円
移動支援サービス	利用対象者が通院や買い物等をする場合における住民主体による送迎前後の付き添い支援や通いの場への送迎	特定研修を受講することを要件 運営費補助月額:2千～1万2千円
通所サービス	住民主体による利用対象者を中心とした定期的な利用が可能な自主的な通いの場の運営及び送迎	開設頻度:週1回以上 人数:利用者5人以上/月 開設時間:3時間以上/回 活動内容:体操・運動等の活動、趣味活動を通じた日中の居場所づくり その他:送迎を行う場合は特定研修を受講することを要件 運営費補助月額:3万～7万2千円

◆地域支え合い型サービスの実施状況（令和2年8月1日現在）

No.	区	サービス運営者名	訪問	移動支援	通所	送迎	取組内容
1	東1	暮らし支援協力隊	○	○			訪問：生ゴミ出し、買い物代行、電球交換、掃除、調理 等 移動支援：各種介助、通院、買物、役所手続 等
2	西3	二本木ボランティア会			○		百歳体操 等
3	東3	だっでんかつでん寄んなっせ			○	○	・健康体操・趣味活動(カラオケ)・茶話会 等
4	東3	みんないっしょクラブ		○			いきいきサロン、おしゃべり会への移動支援
5	西3	古町さくら会			○		健康体操(ストレッチ、筋力アップ、嚥下体操など)、銭太鼓を使った踊り、ゲーム(棒サッカー、テーブルホッケー、ポッチャ)、カラオケ等
6	南5	team輪			○		昼食会、健康体操、健康ヨガ、趣味活動(小物づくり、英会話、編み物等)、脳トレ 等
7	東4	広木よかばい元気くらぶ			○		百歳体操、カラオケ
8	南5	天明元気づくり応援隊			○		百歳体操、茶話会、小物づくり、脳トレ 等
9	北4	麻生田5町内地域交流かたらん会			○		健康100歳体操、バンド体操、趣味活動(マージャン、オセロ、トランプ、百人一首、チャレンジ脳トレ体操)、出前講座、手品講習、茶話会
10	西2	石神水曜くらぶ			○		健康体操(屋外レクリエーション)、法話、ビデオ鑑賞(DVD)、趣味活動(手芸、折り紙、パズル、将棋等)、出前講座、講和、茶話会
11	中央3	黒髪4町内地域お助け隊	○				樹木の剪定、雑草刈り、ゴミ出し分別、、包丁研ぎ、屋根樋清掃、布団カーペット日光干し、ダンスやベッド等の移動(比較的軽易作業)
12	西4	なかよしクラブ			○		健康体操、脳トレ、レクリエーション、出前講座、茶話会
13	南3	白藤団地元気カフェ			○		百歳体操、茶話会、サロン、脳トレ、ベタンク、輪投げ、ポッチャ、手話体験、折り紙、手芸、歌、出前講座、お菓子づくり実演会
14	南1	とみあいば支え合い隊			○	○	脳の健康教室、健康体操、趣味活動(折り紙、絵画、、おじゃめ遊び、コーラス等)、出前講座、茶話会等
15	南3	上近見健康カフェ			○		百歳体操、趣味活動(折り紙、トランプ、輪投げ等)、映画鑑賞、茶話会等
16	東4	画図元気クラブ			○		健康体操、茶話会、カラオケ、グラウンドゴルフ、園芸
17	東5	秋津1町内元気くらぶ			○		健康体操、趣味活動(お花・囲碁・将棋・手芸・カラオケ等)、出前講座、茶話会等
18	西2	銀杏会いきいきくらぶ			○		いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、ゴムバンドストレッチ、おしゃべり会、歌謡カラオケ
19	東5	桜木東元気くらぶ			○		健康体操(百歳体操、脳トレ等)、趣味活動(手芸、工作、歌)、健康・認知・歯科等の講話、茶話会
20	西4	あかつき会			○		健康体操、脳トレ、レクリエーション、出前講座、カラオケ、茶話会 等
21	中央5	和会			○		健康体操(いきいき百歳体操)、趣味活動(手芸、生け花、食事会)、講和、茶話会
22	中央2	八王寺すこやかクラブ			○		ストレッチ、百歳体操、カミカミ体操等の健康増進、機能回復体操、歌、ゲーム、出前講座(お口の健康等)等
23	北1	大和地区生活支援サポートセンター	○				家事支援(ゴミ出し、掃除、洗濯、料理、買い物、衣類の整理等)、外出支援(買い物や散歩の付添等)等
24	西4	岳本村げんき会			○	○	百歳体操、趣味活動(小物づくり・カラオケ・脳トレ等)、出前講座、茶話会 等

区別サービス数	計					24団体
	中央区	1		2	3	
	東区	1	2	5	8	
	西区			7	7	
	南区			5	5	
	北区	1		1	2	
	計	3	2	20	25	

3. 住民主体の通いの場の普及・拡大

住民主体の通いの場である「くまもと元気くらぶ」や地域の健康サロン等の新規設立の支援や継続運営に関する助言等の必要な支援を行うほか、外出機会の乏しい方を地域の通いの場につなげる等により、介護予防活動の普及・拡大を推進する。

◆くまもと元気くらぶ支援メニュー

①活動支援補助

補助率 1/2、物品購入費（上限 58,000 円）、活動費（上限 74,000 円）を補助。

②リハビリ専門職派遣

年度内に 6 回まで、リハビリテーション専門職が出向き、運動方法の指導や効果測定を実施。

③立ち上げ支援スタッフ派遣

設立当初の 1 2 回の運営を支援。



◆くまもと元気くらぶの実施状況（令和元年 8 月現在）

くまもと元気くらぶ設立推移

H29年7月支援制度開始

年度		中央区	東区	西区	南区	北区	計
H29 2017 年度末	団体数	3	4	7	2	2	18
	参加人数 団体登録時点	52	102	158	50	63	425
H30 2018 年度末	団体数	7	11	16	8	5	47
	参加人数 団体登録時点	168	254	346	230	160	1,158
R1 2019 年度末	団体数 うち地域支え合い型 サービスと併用	9	12 (1)	18	12	9	60 (1)
	参加人数 団体登録時点	174	290	374	356	279	1,473
R2 2020 年8月末時点	団体数 (うち地域支え合い 型サービスと併用)	10	12 (4)	18 (1)	12 (1)	11	63 (6)
	参加人数 団体登録時点	178	274	377	322	318	1,469

※R2 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛している団体もあるため暫定値。

4. くまもとメディカルネットワーク等を活用した医療介護連携の推進

日常業務におけるくまもとメディカルネットワークの活用や利用拡大に向けた普及啓発に取り組むほか、地域の多職種の連携を深め、高齢者が住み慣れた地域で質の高い医療や介護を受けることができる体制づくりを推進する。

◆くまもとメディカルネットワークについて

利用施設（病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設等）をネットワークで結び、参加者（患者）の診療・調剤・介護に必要な情報を共有し、医療・介護サービスに活かすシステム。熊本県が地域医療介護総合確保基金を活用し熊本県医師会に委託し、平成28年11月末より県下全域が運用開始。

全センター加入済み。



令和元年度メディカルネットワーク参加同意書取得数

(件)

包括名	西 2	南 1	南 4	南 5	北 1	北 2
取得数	6 8	1	5	1	2	4